

渡良瀬川だより

臨時号
平成23年7月5日
国土交通省
渡良瀬川河川事務所
地域広報官

渡良瀬川上流の草木ダム貯水量 赤信号点滅！

7月5日から渡良瀬川で10%の取水制限を実施中！

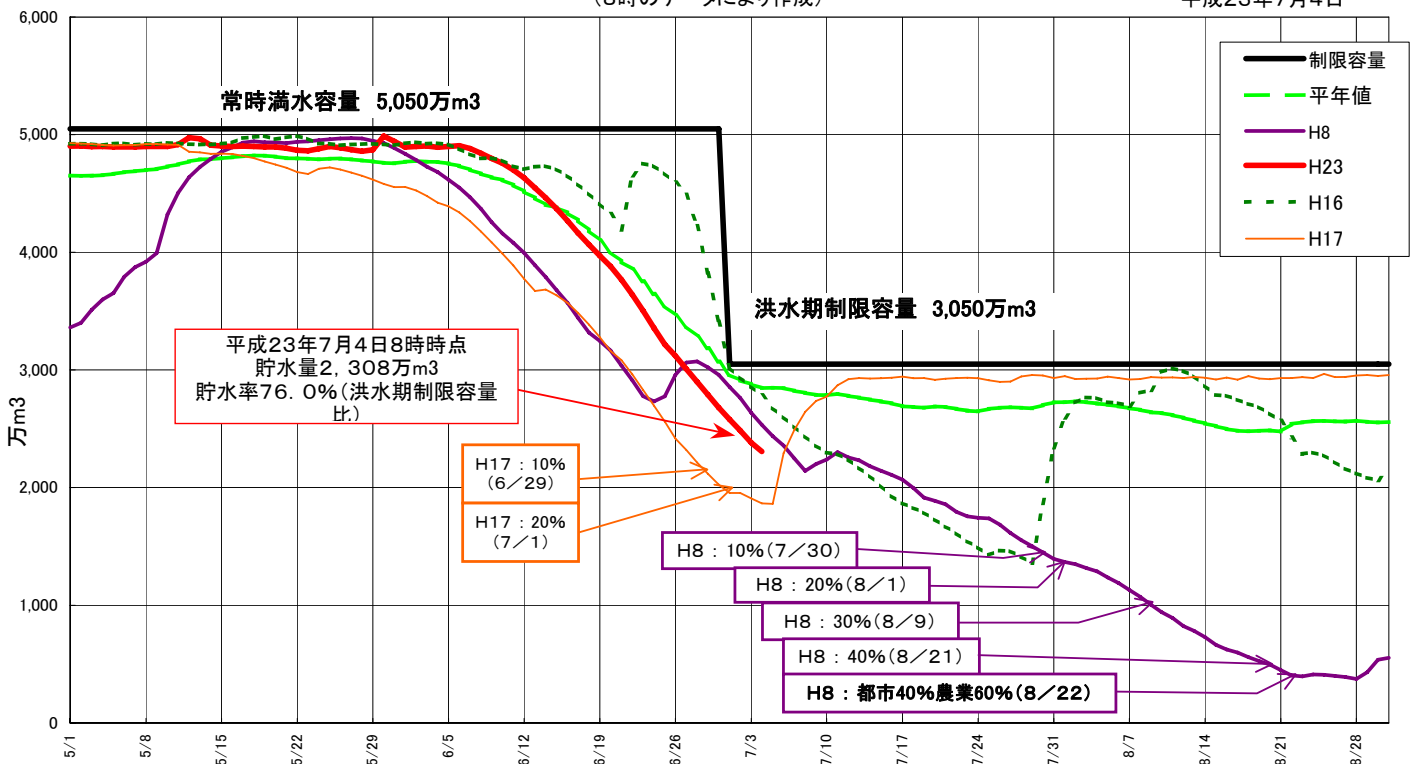
渡良瀬川流域の6月の降水量は、平年の半分程度であり、少雨傾向が続いています。また、渡良瀬川上流にある草木ダムの貯留量は、7月4日8時時点で約2,308万 m^3 （洪水期制限容量比に対して貯水率約76.0%）で、この時期としては、平成8年の大渇水時を超える貯水量不足となっています。

農業用水での使用量のピークは過ぎたものの、大きな水需要がまだまだ続くことから、今後の気象状況によっては、草木ダムの貯水量は更に低減が見込まれます。

このような状況から、渡良瀬川河川事務所は7月4日に今年2回目の渡良瀬川水利使用調整連絡協議会を開催し、7月5日9時から10%の取水制限を実施しています。

草木ダム貯水量
(8時のデータにより作成)

平成23年7月4日



取水制限？ 渇水？

渡良瀬川河川事務所
地域広報官がお答えします！



Q. どうして取水制限をするのですか？

渡良瀬川の水はいろいろなことに利用されていますが、雨が降らないと渡良瀬川の水も少なくなり、使える水が足りなくなると「渇水」となります。

渇水になると皆さんの生活や田植えなどの農業に多くの不便が生じるばかりか、川に棲んでいる魚などの生態系にも影響がでてくるため、草木ダムに貯めていた水を川に流し、生活用水や農業用水を取水することができるようにします。

今年は既にたくさんの水を草木ダムから渡良瀬川に流していますが、ダムで貯めている水も少なくなったため、これからの水需要に備えて取水制限を実施し、皆さんの生活に影響がでないようにします。

Q. 取水制限はいつまで続くのですか？

今後も降雨量が少ない場合は、各関係機関と調整をして、段階的に取水制限を行います。

※現時点では渡良瀬川上流部にある草木ダムの貯水量が2,000万 m^3 を割り込んだ場合には20%の取水制限を行うこととしています。

Q. 一般家庭に影響はあるのですか？

現在は直接の利水者（各水道、土地改良区等）が取水量のやりくりをして配水するため影響はありませんが、今後の降雨量の状況によって、取水制限を強化すると、プールが使用できなくなったり、高台で水の出が悪くなるなどの影響が出る場合もあります。

**節水に
ご協力を
お願いします**